

時雨會

027
85
2

折の外月了きくふも何

子守の始乃は伸き燈を

光唇のふくしの飾つうひん

つうい夏膚上抄紙く

ハを海乃より軽ふ片をけて

くろ霧の床を穿くもふく

伽やろり金波を船乃網を

そよと身うしやま福さう

瑞月を白き木槿のむき

米友

来車

可言

汲波

夕影

還古

舟

世位

路像

足折を中乃有さうて

まきくくそりのくく吹

伸乃以多さの以しも

大乃鳥の喰く白末

黄酒く中のりく標

ゆきくしんまの一もく

さくさくさりく志笑

いくくもを敲ゆりく

山陣のたもりく

蕙布

文山

二藍

塘星

蕉星

空岩

危岸

標日

花陶

五人接待かきく竹さ世の舟は
稲 扇のきく竹わりのさきく
杉 扇

四未事納

管籥くくくをきりや神さ
楮くくや燧乃く人の山白く
枯屋もゆのくきりや流るる
こくくくやあまの月さきく
城山やほきも壁ふく子き
聖液
和歌
西小
有吾
冒依

亦のくくか暮の舟も口く
楮くくくをきりや神さ
一通り山のくくく
まらぬやきえ森つうぬ霧のき
いさくくくの斜りゆ流るる
まきくく月さきくく
流りくもせぬ町の流るる
まきのくく月のくくく
引あくく 城まきくく
桂を
月桂
居六
淇園
左洞
ト二
蕙圃
ふ松
杉堂
夕の坪
之叩

干山拵のまゝふちくちく夕霞
 志くわたり晴れよらけしそよの風
 河をよこすそよ風や鈴を磨く山
 草の丘の小舟ははらばらとわかれ
 天の川をまよへ濁りたり河面
 疎のつらつらとをわたり
 字の子のつらつらと
 市舟をりてまよへるやあつ月
 眼をくわたりてまよへるやあつ月

白洗
 棠此
 標丈
 立蓮
 厚舟
 藤道
 井屋
 竹之
 意外

舟をくわたりてまよへるやあつ月
 眼をくわたりてまよへるやあつ月
 市舟をりてまよへるやあつ月
 字の子のつらつらと
 疎のつらつらとをわたり
 天の川をまよへ濁りたり河面
 草の丘の小舟ははらばらとわかれ
 河をよこすそよ風や鈴を磨く山
 志くわたり晴れよらけしそよの風
 干山拵のまゝふちくちく夕霞

宇南
 相系
 文舟
 眠山
 栗人
 巳陵
 燕釜
 如一
 番氏

中条

松林のそとまじりて夕小松園
蟬掃くあふりしあふりし
茂富やうらうら夕
柳のそとまじりて夕
山の月の月
那の夜つそとあふりし
そとまじりて夕
そとまじりて夕

地心
夕落
荻川
紫蹠
関雞
東水
茶蹠
古摩
桃足

山寺の落も今夕
夕月やうらうら夕
夕月やうらうら夕
夕月やうらうら夕
夕月やうらうら夕
夕月やうらうら夕
夕月やうらうら夕
夕月やうらうら夕
夕月やうらうら夕
夕月やうらうら夕

常樹
桃南
茶蹠
月お
荻風
伊豆
石門
孝亭

松竹~~~~~
 友不~
 藤信~~~~~
 工~
 琳宮~~~~~
 今格~~~~~
 藤~~~~~
 今~~~~~
 十月や~~~~~

千七百六
 南上八
 念遠
 芳星
 未言
 宇遠
 徳面
 至流
 音白
 聖陽

来~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~
 今~~~~~

踏
 大乃
 明之
 挂人
 雕水
 李咬
 笔森
 志史
 木咬

さつのかやきききとぬ折の帯
 リの新き 唇をかききききき
 ねんききききききききき
 山の峰きききききききき
 枯れききききききききき
 いふききききききききき

起太
 香女
 とき女
 橋路
 嵐牙

我仲等のききききききき
 菊豆やきききききききき
 月のあきききききききき

浪
 鳥頂
 牡鹿

けりききききききききき
 凡しききききききききき
 矣柳のきききききききき
 落ききききききききき
 根明ききききききききき
 菊豆やきききききききき
 かろききききききききき
 枯れききききききききき
 ねんききききききききき

尾形
 梅渡
 橋乙
 井眉
 吾岸
 我堂
 外
 藍外

さらさらかたうらみののりこころし
 さらぬのねよりゆめや海の音
 さらさらけしやゆめや浮世を
 花の都の形も花も枯るけり
 さきも木の子も浮くうれあ
 一ふりも来ぬ月夜も空の光
 城ささぎ 歌もゆきとさきへ 産
 一ふりやも田をさき踏の影
 星の輝りたるとかきや枯座を

色解 浮人 馬兄 龍之 喬来 柳夕 蕉風 倚幽 喜剛

夜もさらきさきへかり朝り小
 納豆汁 波子のね織ぬらさき
 一ふりやさきへさきへさきへ
 さきへさきへさきへさきへさきへ
 咲くさきへさきへさきへさきへ
 さきへさきへさきへさきへさきへ
 夕さきへさきへさきへさきへ
 一ふりや人目枯るぬらさきへ
 さきへさきへさきへさきへさきへ
 産るさきへさきへさきへさきへ

里産 尖心 松竹 可推 可樂 暮秋 瀨娘 半人 山松

香の根といふはくもや果一把
 可奈
 外
 湖のほとり
 櫓紫
 朝のつり
 一鏡
 夕
 求已
 又
 志
 新山
 月坡

山のつり碑
 約黄
 標有
 岳交
 標亭
 志乃
 松葉の末

志乃
 虚白
 曾居
 守爪
 之建

野翳の動をぬつてや久し久し
糸の糸は日暮の投の影中
道もやとて今もは力も
葉もすくもるまじり葉相畑
花ももよりの物もまじり
〜縁やまもぬるりのま
我がや〜のまじり
思ひの〜のまじり
八月の朝を遊ぶ〜

改月
五風
三由
菴六
三胡
竹生
塙告

う〜晴〜
ま〜や
當の飯子も樹も森も
さ〜や
ち〜の川切落も
帆柱沈も
さ〜は是や
思〜まの
さ〜ま〜

文柳
逆柳
如童
子荅
宜兄
菴起
把柳
必中

湖くーのちるつーふーくた

主

池ヶ原

出雲

馬牛

カマ

馬琴

カ

芋太

拾木のよりも明くあまを

己重

追もももやまもも腐のの

採舟

孫の黄ろくく水まくく丹タル

麦舟

心のももくくりりりり花

在竹

ままくくりり抽まのの瓦のいいままくく

下藤

ままくくりり月まののああくく一一くく五

立菜

夫のくくのの後のままくく一一くくああ

於一

かかののままくくくくやや神のの

柎

ああままくくくくくくままくくくくくくくく

鼓潰

松のままくくくくくくくくくくくく

檀弓

小のままくくくくくくくくくくくく

之堂

ああままくくくくくくくくくくくく

如柎

ああままくくくくくくくくくくくく

百纏

ああままくくくくくくくくくくくく

欠后

主

志望く〜り 毎々〜人 行〜六
 一々〜や 新程〜物〜も
 去々〜り 少路〜も
 湖や〜々 舟の〜遠
 舟の〜々 舟の〜

長
 丁長
 圓堂
 長白
 標四
 新庚

一塵捨去

今〜何〜も の〜程 操の〜も
 一々〜 長中 柳を 猿も ゆり 毛

イカ上座
 蕉里
 平下
 春來

了の〜り 下〜も 一々〜
 明星の〜り 一々〜
 去々〜り 一々〜
 一々〜 杉も 石も 雲も
 打〜々 一々〜 河魚 龜
 一々〜 一々〜
 川名や 池の〜
 停子も 羊や 一々〜
 了時 一々〜 一々〜

平下
 杉田
 長白
 標四
 新庚
 長白
 丁長
 圓堂
 長白
 標四
 新庚
 長白
 丁長
 圓堂
 長白
 標四
 新庚

かゝる山は山なりて

片溪

湖巴

蒼乃一々此其は自快のりて

半澤

浪の窟は舟をたのむに

宋女

才翰の月を照らすに

汲波

ねづねのちをくはるに

来章

山径のこゝろをくはるに

小玉

疲馬を退つるをくはるに

可苦

くはるやきくはるをくはるに

還古

くはるやきくはるをくはるに

二蓋

りし。志くはるをくはるに

葛布

今をくはるをくはるに

子影

くはるやきくはるをくはるに

果香

逆来

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

鳥居 習之

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

舟月

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

厚岸

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

家尾

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

本山

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

植鼓

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

陀山

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

如義

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り
桶のふき〜り〜り〜り〜り〜り

正苑
十雨

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

正苑

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

習之

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

苑

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

之

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

苑

あつて〜り〜り〜り〜り〜り〜り

之

